

問 局の代表理事が副村長になる違いは

答 執行最高責任者であり副村長とは違う



太田伸子議員

村長 私は行政執行機関の最高責任者であります。副村長とは違います。

問 局の抜本的改革の考えは。

村長 素晴らしい山岳景観を生かして、グリーンシーズンの誘客としてアウトドアのニーズに応えたいと思っています。

問 局の課題解決に向けた検討委員会の報告で、分担金は現在の2分の1の1千500万円あるとあるが、議会では分担金相当額を村の負担金として認めるとしている。委員会から村の負担金を1億円に増額するという報告を受けて村長の考えは。

村長 できる限りの支援はしていきたいと思っておりますが、検討委員会の報告であつて、村としては決定したわけではありません。

問 今年度の観光局の事業収入予算は、426万円。人件費3千699万円強くらい

の事業収入を得るくらいの事業努力をお願いするところであるが、代表理事に就任された副村長の考えは。

副村長 局の形態の再構築をしていきたいと考えています

問 白馬高校存続について、白馬・小谷両村の全国募集への対策は。

村長 県教育委員会の決定前で、デリケートな時期であり詳しくはオープンにできないことをご理解いただきたいと思ひます。

問 給食共同調理場建設計画の進捗状況は。

村長 検討委員会開催が遅れていますが、6月から7月にかけて初回の委員会を開催し、先進地視察も検討しています。

問 〔神城断層地震の復旧・復興について〕

問 農地復旧にかかる現状の村費負担の見積額は。



被災地に特産品をいただきました

村長 事業費の総枠がかめない現状で、復旧にかかる村費負担金額の見積りを具体的に示すのはご勘弁いただきたいと思ひます。

問 宅地ボーリング調査の状況は。

村長 被災者宅地に対して、住宅再建に向けた宅地の地耐力調査を実施するものです。この調査結果により宅地の安全性を保証するという趣旨ではなく、現在の地盤の状況について専門的な調査により確認するものです。

問 公営住宅建設に向けての進捗状況は。

村長 概略スケジュールは、今年度、補助制度の選択、



国際色も豊かになった塩の道祭り

建設地の選定、住宅の形態・構造・規模等の策定、及び基本設計を行ない、平成28年度、国の補助を受け建設に着手し、降雪期前に完成の予定です。

問 耕作不能農地の耕作者に10aあたり7千500円の営農支援、草刈り等維持管理費として5千円が支払われるが、これは耕作者への休業補償と思ひえるが。

村長 義援金は半壊以上という制限がありますので、住宅被害の方へ配分しています。耕作不能者へは国の補助を利用して見舞金要素として補償しています。

農政課長 見舞金要素として補償しています。

問 今回の総会で、代表理事が村長から副村長に代わったが、その違いは。

問 村長公約の民間活力を活かした観光局の改革とは。

【平成27年度白馬村の重点施策について】

村長 観光局の代表理事は民間事業者の理事の中からふさわしい人についていただき、民間主導により、民間の持つ経営感覚とスピード感を持って観光局の運営をしていくことが望ましいと考えています。